

「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」個別事業の評価一覧

事業の評価										予算		担当課															
■ 施策(11) 社会的養護が必要な子どもへの支援										予算・3次																	
実施年度	事業番号	事業名	事業概要	【Plan】計画		【Do】実施					【Check】評価		【Action】改善		予算事業名	3次プラン取り組みNo.											
				令和元年度の事業計画	令和元年度の実績	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	評価	5ヵ年評価の理由(分析)	達成・概ね達成・やや遅れ・遅れ			課題や改善内容										
1	230	児童養護施設処遇改善事業	児童養護施設を対象に、発達障害児や知的障害児などの処遇困難児を受け入れる人数に応じて、職員を加配する費用を補助し、処遇困難児への必要なケアと他児の処遇の質を確保する。あわせて、職員配置の充実を図る。	①児童養護施設への職員加配費用補助	①10人の職員加配。	加配する職員数 【現状値】 9人 (H26年度) 【目標】 適切な加配	適切な加配	適切な加配	適切な加配	適切な加配	適切な加配	11	9人	8人	7人	10人	100%	100%	100.0%	100.0%	100.0%	達成	・処遇困難児に対して必要な職員を加配する費用を補助することにより、処遇困難児への必要なケアと他児の処遇の質を確保できた。	・処遇困難児への必要なケアと他児の処遇の質を確保するため、引き続き職員配置の拡充を図る。	児童養護施設処遇改善事業		児童・子育て支援課
1	230	地域小規模児童養護施設・小規模グループケアの実施(児童養護施設等措置費)	児童養護施設等において、家庭的な環境の中で職員との個別的な関係を重視したケアを提供するため、小規模グループ(原則6名以内)によるケアを実施する。	①地域小規模児童養護施設・小規模グループケアの運営 ②地域小規模児童養護施設・小規模グループケアの整備	①実施箇所数 小規模グループ19か所 地域小規模児童養護施設6か所 ②地域小規模児童養護施設 新規1か所開設	地域小規模児童養護施設・小規模グループケア実施箇所数 【現状値】 11か所 (H25年度) 【目標】 23か所 (令和元年度)	現状値比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	15か所	16か所	16か所	24か所	25か所	136%	107%	100.0%	150%	104%	達成	より家庭に近い小規模の落ち着いた環境の中で児童は生活することができた。 実施数は順調に増加している。	・小規模グループケアは、児童をより家庭に近い小規模の落ち着いた環境の中で生活させ、児童に決め細やかなケアを実施できることから被虐待児等への支援としても有効であり、引き続き各施設に整備を働きかける。	児童養護施設等措置費	98	児童・子育て支援課
1	240	自立援助ホームの運営(児童養護施設等措置費)	児童養護施設等を退所し、就職する児童に対し、共同生活を営む住居において、相談その他の日常生活上の援助および生活指導、就職支援を行うことで、社会的自立の促進に寄与する自立援助ホームを運営する。	①自立援助ホームの運営	①自立援助ホームの運営 卒園者4人	就職等自立児童数 【現状値】 7人 (H25年度) 【目標】 増加	現状値比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	3	3	0人	4人	4人	43%	100%	-	400%	100%	達成	・就労する、また就労を目指す入所児童に対し、日常生活上の援助及び生活支援等を行い、卒園児等の自立までの居場所、自立支援に寄与している。	市内外の自立援助ホームを活用し、児童の自立支援を行っていく。	児童養護施設等措置費	100	児童・子育て支援課
1	241	児童養護施設等入所児童への運転免許取得費助成など自立支援事業	児童養護施設等の退所を控えた児童等を対象に、普通自動車運転免許取得費や就職に有利な資格取得費の一部を助成することにより、児童の自立を支援する。 また、大学等の入学金の助成や生活費の支援を行い、進学希望に応える。	①運転免許取得希望者への助成 ②資格取得希望者への助成	①助成額:3,600,000円 助成人数:18人 ②助成額:28,600円 助成人数:4人	運転免許等取得者数 【現状値】 18件 (H25年度) 【目標】 増加	現状値比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	35件	38件	24件	26件	22件	194%	109%	63.0%	104%	85%	達成	・就職時に有利になる資格の一つである自動車運転免許取得及びその他資格の取得は、入所児童の自立を促進する上で有効であり、申請のあった児童全員に各種助成を行うことができた。	・自動車免許運転免許の取得やその他資格の取得は、就職の際に有利であるが、入所児童等にとって金銭面での負担が大きいため、事業を継続し、引き続き助成を行うことにより、入所児童等の自立を支援する。	児童養護施設等入所児童自立支援事業 社会的養護自立支援事業	101	児童・子育て支援課
1	241	児童養護施設入所児童等の身元保証人確保対策事業	施設入所児童等が就職や住宅を賃借する際、施設長等がその保証人を引き受けやすくするため、その損害賠償等を補償する保険に自治体負担で加入し、施設入所児童等の退所後の自立を促進する。	①身元保証人に対する保険加入	①保険加入9人	身元保証人確保対策事業利用者数 【現状値】 13人 (H26年度) 【目標】 -	必要に応じ支援	必要に応じ支援	必要に応じ支援	必要に応じ支援	必要に応じ支援	14	22人	12人	8人	9人	-	-	-	-	-	達成	・希望する児童等全てに対し支援できている。	・必要性に応じて支援する。	児童福祉施設総合支援事業		児童・子育て支援課

事業の評価											予算		担当課					
■ 施策(11) 社会的養護が必要な子どもへの支援											予算・3次			※赤字が評価を記載した課				
【Plan】計画				【Do】実施					【Check】評価		【Action】改善							
指図書番号	事業番号	事業名	事業概要	令和元年度の事業計画	令和元年度の主な実績	活動指標					評価	5ヵ年評価の理由(分析)	課題や改善内容		予算事業名	3次プランNo.		
						区分	27年度	28年度	29年度	30年度				令和元年度				
1	245	入所児童の権利擁護のための調査審議等を行う社会福祉審議会児童福祉専門分科会への設置	市内の児童養護施設等で発生した被措置児童等への虐待に対し、入所児童の権利の侵害を救済し、心身の健全な成長を図るため、その権利の擁護に向けた調査審議等を行い、市長に対して対応方針等について意見を述べます。	①社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催	①開催回数:1回	現況値	必要に応じ開催	必要に応じ開催	必要に応じ開催	必要に応じ開催	必要に応じ開催	達成	・令和元年度は4回開催している。なお、開催の有無に関わらず、措置児童等に対する虐待事案が発生した際の諮問調査機関であるため、同機関の設置は有効である。	・必要に応じて開催する。	予算なし		子家・子育て支援課	
2	246	ファミリーホームの運営(児童養護施設等措置費)	家庭的養護を促進するため、保護者のいない児童などに対して養育者の住宅を利用し、児童の養育・自立支援を行う。あわせて、ファミリーホームの普及・促進に努める。	①ファミリーホームの運営 ②ファミリーホームの整備	①②実施か所数:9か所	現況値	6か所 (H25年度)	7か所	7か所	7か所	7か所	9か所	概ね達成	・社会的養護が必要な子どもに、家庭的な養育環境を提供できるよう、ファミリーホームの整備の推進に取り組んだ。	・家庭的養護を促進するため、引き続きファミリーホームの整備を推進する。	児童養護施設等措置費	95	子家・子育て支援課
2	245	里親促進事業	家庭での養育に欠ける児童に対して、家庭的な環境の下で愛着関係を形成しつつ養育を行う里親委託を推進するため、制度の普及啓発や里親への支援を総合的に実施する。	①里親登録者増加のための普及啓発活動の実施	①里親制度の普及啓発活動を行った。 ・市政だよりやホームページ、地域情報誌等への掲載 ・出前講演 7回実施	現況値	14.2% (H25年度)	17.5%	20.8%	19.0%	19.1%	23.0%	概ね達成	・計画期間中の達成率は、増減が見られたものの、3次プランで、より高い目標値を設定し、更なる里親等委託率向上に向けた取り組みを行っているため。	【課題】 ・里親登録者数の増加 ・里親の資質向上 ・里親の孤立化防止 ・里親委託率の向上 【改善】 ・里親制度のさらなる普及啓発 ・登録里親へのより有効な研修会等の実施 ・里親等への総合的、継続的な支援	里親促進事業		子家・子ども総合センター
2	246	家庭生活体験事業(一日里親事業)の充実(児童養護施設等措置費)	児童養護施設に入所している児童に温かい家庭生活を体験する機会を設け、児童の社会性の涵養や情緒の安定、退所後の自立を促進する。	①一日里親事業の実施	①一日里親事業の実施 利用児童:290人	現況値	364人 (H26年度)	378	352人	437人	476人	290人	達成	・希望する児童養護施設の入所児童全員を家庭生活体験事業に参加させることができた。	・児童養護施設等入所児童に家庭生活を体験させる当事業を推進し、児童の社会性の涵養、情緒の安定、退所後の自立を促進する。	児童養護施設等措置費		子家・子育て支援課